

振興トピックス

このコーナーでは、主に電源地域の地域活性化に向けたソフト事業の話題を取り上げています。今回は、「ふるさと祭り東京2016」の様様、福島県広野町、大分市竹田市、広島県竹原市の取り組みを紹介します。



ふるさと祭り東京2016

東京ドーム 地図 A



8回目を数える「ふるさと祭り東京」



御前崎市の「夢咲牛ローストビーフハヤシ丼」



大間町の「まぐろ丼」の実演販売

本年1月8日(金)から17日(日)までの10日間、東京都文京区の東京ドームにおいて、「ふるさと祭り東京2016」が開催された。8回目を数えるこのイベントは毎年盛況を見せており、本年度の入場者数は約42万人となった。

ステージでは、毎年恒例の全国各地の16団体による伝統的な日本の祭りが集結し、躍動感あふれる演舞が繰り広げられた。

また、今年も「全国回転寿司デカ盛り寿司フェスタ」の新企画をはじめ、新鮮な海の幸や山の幸、B級グルメなどのふるさとの味が大集合した。

恒例の「どんぶり選手権」では前回入賞でシードされた4つのどんぶりと、予選会を突破し

た11、計15のどんぶりが「No.1ご当地どんぶり」の座を競った。グランプリは青森県八戸市の「八戸銀サバトロづけ丼」で、冷たい海流に揉まれてたつぷりと脂の乗った八戸沖のサバのつけ丼。静岡県御前崎市の「夢咲牛ローストビーフハヤシ丼」は大健闘するも、入賞を逃した。しかし、「民間と行政が力を合わせ

て行った首都圏での産品PR」は大成功と言え、「食欲解放区・御前崎」を推進する上において大きな成果となった。

この他、「全国おとりよせコレクション」として、御前崎市

「第2回 広野ふる里ふれあいマラソン」を開催

福島県 広野町 地図 B

の他に、茨城県東海村、福井県美浜町、福井県小浜市、島根県松江市、鹿児島県薩摩川内市が出演、青森県大間町は「マグロ一筋」として「まぐろ丼」などの実演販売を行った。

本年1月24日(日) 広野町総合グラウンドをスタート・ゴール

として「第2回 広野ふる里ふれあいマラソン」が開催された。

快晴の中、総勢約250人が参加して町内のコースを駆け抜けたが、今回は特別ゲストに、

埼玉県庁所属の公務員ランナー川内優輝選手が招待された。川内選手は個人の部として走り、

そのスピードで観客を沸かせていた。完走後には子どもたちと一緒に伴走したり、声をかけあ

つたりと、参加者や観客は川内選手との交流のひとつを喜び、

この大会は、「復興に駆けるリレーハーフマラソン」として昨年度から開催されている。「リレーハーフマラソン」の部では、2

名以上16名以内のチームで約21kmを仲間と繋いで走る。その他に2.6kmを走る「家族で走るフ

アトバイス」をもらっていた。

レース終了後には、トークイベントが実施され、川内選手は練習にあたって日ごろ心がけていることや、これからの目標などを参加者に披露した。

この大会は、「復興に駆けるリレーハーフマラソン」として昨年度から開催されている。「リレーハーフマラソン」の部では、2名以上16名以内のチームで約21kmを仲間と繋いで走る。その他に2.6kmを走る「家族で走るフ

手から様々な

(上)町総合グラウンドでスタートするランナー
(下)川内選手と記念撮影





市内約40ヶ所の施設が対象

市内の観光案内所で発行されるパスポート



「ミリーラン」の部もあり、広野町の冬の風物詩になりつつある。

主催は広野町。運営は総合型地域スポーツクラブNPO法人広野みかんクラブで、広野町におけるスポーツ及び文化の振興を図るために、「子どもから高齢者まで、いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ及び

び文化活動に参加できる環境づくりを目指している。

このクラブは住民と行政の協働により、会員の健康増進、地域コミュニティの促進、青少年の健全育成など、明るく豊かで活力ある地域づくりに寄与することを目的として、様々な活動を展開している。

「温泉療養保健システム」

大分県竹田市 地図

観光ニーズが多様化する中で、『ヘルスツーリズム』が注目されている。これは温泉療法や森林療法、海洋療法など、医学的な根拠に基づく健康回復や維持増進に繋がる観光を指す、ニュートーリズムといわれる旅行形態のひとつだ。この他に、医療行為を受けるための手段としてのメディカル・ツーリズムも広い意味でヘルスツーリズムに含まれる。

観光ニーズが多様化する中で、『ヘルスツーリズム』が注目されている。これは温泉療法や森林療法、海洋療法など、医学的な根拠に基づく健康回復や維持増進に繋がる観光を指す、ニュートーリズムといわれる旅行形態のひとつだ。この他に、医療行為を受けるための手段としてのメディカル・ツーリズムも広い意味でヘルスツーリズムに含まれる。

その際の立ち寄り温泉については200円が補助される。助成を希望する観光客は、市内の観光案内所で「温泉療養保健パスポート」の発行を受け、スタンプの押印と、宿泊施設や温泉施設の領収証を添付して、6カ月以内に竹田市観光ツوری

アニメの舞台を町の観光振興に活用

広島県竹原市 地図

『聖地巡礼』ツアーが話題になっている。

アニメは、2014年で200本以上もTV放映されており、日本が誇る「メディア芸術」のひとつ。そのアニメファンの中には、ただ見るだけでは飽き足らず、作中の舞台となった地域（いわゆるロケ地）へ訪問する熱心なファンも多く、こうした彼・彼女らの行動は、俗に『聖地巡礼』と呼ばれている。

アニメ作品の「世界観」を体感・共有することを目的としており、まさにニュートーリズムと言つてよいもの。多くのアニメ作品では、町の路地や駅のホーム、海沿いの道など、日常的な風景がそのまま背景画となつて登場し、その中で主人公たちの物語が展開される。訪れた人がその風景に身を置くことで、作品の世界観を体感するという、まさに『巡礼』となるのだ。

いわゆる「コンテンツ・ツーリズム」は、古くは『ローマの休日』や、日本の大河ドラマのロケ地めぐりなど、新しいものではない。そうしたコンテンツを地域活性化に活用するのは、全国で展開されている事例でもある。ところが、この『聖地巡礼』の中心となるのは多くが若年層で、

アニメ『たまゆら』の舞台になった広島県竹原市では、市のホームページに、「おすすめ舞台訪問コース」などを紹介しており、作品の一面面と実際の風景を並べて紹介するなど、積極的に『聖地巡礼』の観光客へアピールしている。昨年は「たまゆら町並みお散歩スタンプラリー

ズム協会の申請する。後日指定した銀行口座に振り込まれるというシステムだ。

現在、市内の温泉付き宿泊施設は約20ヶ所、立ち寄り温泉施設も約20ヶ所が対象となつている。その他、この「温泉療養保健パスポート」を提示すると、約30ヶ所の食事処や体験施設な

どで様々な特典が受けられる。官公庁・旅行会社・地方自治体などが連携して、ヘルスツーリズムに結びつけた観光資源開発が全国各地で行われているが、この竹原市の取組みは全国初。平成23年の導入時には年間543人だった利用者数は、平成26年度は760人、延べ泊数は3,9

「in竹原」を開催した。このように、アニメの舞台となった町が、それを地域資源ととらえて、活性化の取組みを行っている事例は最近多くなつていく。茨城県大洗町は『ガールズ&パンツアー』関連のイベント開催で知られている。また、神奈川県箱根町では『エヴァンゲリオン新劇場版』とコラボしてITを駆使したスタンプラリーなどを開催している。

竹原市のホームページ



49泊と実績を伸ばしている。連泊者の増加により平日の稼働率も底上げし、地域の経済効果は20倍という調査結果が発表された。竹原市はこの取組みで、NPO法人日本ヘルスツーリズム振興機構の2015年度「第8回ヘルスツーリズム大賞」を受賞している。